

日赤ふくおか

No.
74

平成30年7月発行

赤十字レッドライトアッププロジェクト2018



赤十字活動資金にご協力をお願いします

TOPICS

- 5月赤十字運動月間の取り組み
- ふくおかの赤十字NEWS
- 大韓赤十字社釜山広域市支社と交歓研修を開催
- 青少年赤十字活動紹介～うきは市立妹川小学校～
- 平成29年度収支報告
- 「浮いて、待て！」暑い夏、水の事故に注意！

発行元 日本赤十字社福岡県支部

〒815-8503 福岡市南区大楠3-1-1 TEL:092-523-1171(代表) ホームページ:<http://www.fukuoka.jrc.or.jp/>

5月は赤十字運動月間！～福岡県支部の取組み～

5月

1日

赤十字フラッグ・パネルを設置

福岡県支部は12月に創立130周年を迎えます。「苦しんでいる人を救いたい」という思いを結集し、これからも「いのちと健康を守る」ための活動を続けていく決意を込めて、本県支部敷地内日赤通り側、およそ50メートルにわたり、赤十字フラッグと日本赤十字社の歴史を描いた赤十字パネルを設置しました。日赤通りをご通行の際は、ぜひご覧ください。



5月

8日

世界赤十字
デー

赤十字レッドライトアッププロジェクト2018

日本赤十字社では、紛争や災害で苦しむ人々に寄り添い、「人道」への理解を深めていただくことを目的として、5月8日の世界赤十字デーを中心に、全国各地の歴史的建造物やランドマークを赤くライトアップする「レッドライトアップ運動」を行っています。

福岡県支部では今年初めてこの運動に参加し、福岡市の協力を得て、福岡市赤煉瓦文化館（中央区天神）を赤十字カラーの赤色にライトアップしました。日本赤十字社のマスコットキャラクター「ハートラちゃん」も登場し、一緒にライトアップを盛り上げました。当日は、赤十字事業を紹介するパネルや救援物資サンプルの展示も行いました。



5月

24日

福岡県支部×福岡赤十字病院 合同イベントを開催

炊出し「ホット ホッと非常食」

平成29年7月の九州北部豪雨災害により甚大な被害を受けた朝倉市の赤十字奉仕団が、これまでの支援に対する感謝の気持ちを込めて、朝倉市の郷土料理「朝倉くずかけ」の炊出しを行い、来場者に提供しました。使用した食材は、福岡赤十字病院で毎月開催されている「あさくら産直マルシェ」から仕入れたものです。

来場者からは、「これからも被災地への支援を続けようと思いました」との感想をいただき、継続的な復興に关心を持っていただく良い機会となりました。



画「愛と平和」贈呈式

福岡県支部庁舎内に設置されている高さ10メートルの壁画「愛と平和」。1976年に当時の日本赤十字社理事長 上田 尊之助 氏から寄贈されたものです。第二次世界大戦で殉職した本県支部の看護師を慰靈するために描かれたこの壁画の下絵となった画が、上田奨学会理事長の上田 康藏 氏から福岡赤十字病院へ寄贈されました。

上田理事長は「長い間保管していましたが、この画が本来あるべき場所へ飾られることになり、嬉しく思います。」と話されました。

画「愛と平和」は福岡赤十字病院アネックス棟1階に展示しています。福岡県支部庁舎内の壁画と併せてぜひご覧ください。



壁画「愛と平和」

ふくおかの赤十字 News

4月

井ノ口 美穂 看護師（福岡赤十字病院） バングラデシュ派遣から帰国

井ノ口看護師は、平成29年12月6日から今年4月26日までの約5か月間、バングラデシュ南部の避難民キャンプにおいて、他国赤十字社と協同し、移動診療や仮設診療所における診療業務および管理・運営業務を行いました。

2017年8月にミャンマー・ラカイン州で発生した衝突以降、バングラデシュへは69万人以上の避難民が逃れて来ています。12月にはジフテリアが流行。井ノ口看護師は感染拡大を防ぐため、コンタクトトレーシング※を実施し、感染の抑圧に取組みました。

※コンタクトトレーシング 感染拡大を防ぐため、感染者一人ひとりがいつ・どこで・誰と接触したなどを明らかにし、感染した可能性のある人をたどる調査手法。



活動中の井ノ口看護師

6月

福岡県・福岡市の 総合防災訓練に参加

6月3日(日)に古賀市玄望園地区で実施された「福岡県総合防災訓練」および9日(土)に福岡市西区の今津グランドで実施された「福岡市市民総合防災訓練」に福岡県支部管内の医師や看護師など32名が参加しました。

福岡県総合防災訓練では、災害時にボランティアをスムーズに受け入れるための「現地災害ボランティア本部設置訓練」が行われ、赤十字防災ボランティアも参加しました。

福岡県支部は、災害により多数の負傷者が発生したとの想定のなか、応急救護所を設置し、関係機関と連携しながら医療救護活動を行いました。今後もこのような訓練を通じ、関係機関との連携強化と救護員のレベルアップに努めて参ります。



救護所での処置



次々と運び込まれる傷病者



搬送されてくる傷病者の情報を記録

6月

「浮いて、待て！」 福岡市教職員対象の着衣泳講習を開催

6月5日(火)、12日(火)、各学校で着衣泳の知識と技術を指導できる教職員の養成を目的に、福岡市教育委員会と共同で着衣泳講習を開催しました。

子どもの水難事故の多くは、河川での水遊びなどの際に服を着た状態で発生しています。本講習では着衣状態で水に落ちる体験とともに、溺れている人を見つけた時の対処法について講習を行いました。

参加者からは、「着衣状態で泳ぐことの怖さを知った。夏休み前に子どもたちにしっかり教えたい。」との感想が聞かれました。

身近なものが浮き具の代わりに



浮いて待つ練習



大韓赤十字社釜山広域市支社と 交歓研修を行いました

5月8日(火)～11日(金)の4日間、福岡県の奉仕団員4名と地区長1名および本県支部事務局長と職員の計7名が大韓赤十字社釜山広域市支社(大韓民国)を訪問しました。研修では、青少年修練館や製パン工場、献血ルームを視察し、お互いの事業についての報告や意見交換を行いました。

釜山広域市支社では社会的に弱い立場にいる方々にパンなどの食糧を配布する奉仕活動を行っています。製パン工場の視察では、釜山広域市支社の奉仕団員3名とスタッフの方々に教えていただきながら、豆やドライフルーツをたくさん入れた焼き菓子作りを体験しました。

各国における奉仕団の活動は、それぞれの国や地域のニーズに合わせたものとなっており、その内容も様々です。今回の研修を通して認識した活動の違いを、福岡県における奉仕団活動の充実に活かしていきます。



大韓赤十字社釜山広域市支社前にて



献血ルームの視察



製パン工場で焼き菓子作りを体験



青少年赤十字活動紹介コーナー



【うきは市立妹川小学校】 ～合言葉は「気づき、考え、実行する」～

うきは市の山間部で、調音の滝の清らかな水と棚田、お茶畠などの豊かな自然に囲まれた妹川小学校。全校児童12名みんなで仲良く遊び、楽しく勉強しています。

メンバーの一員としての自覚を高めるため、年度初めにはJRC加盟式を行い、「気づき、考え、実行する」を合言葉に、運営・JRC委員会が中心となって全校での活動を行っています。

6月には「プランターの花がもっときれいになつたらいいな」と気づき、児童たちは自ら進んで落ちている花殻や雑草を取ったり、水やりをしました。

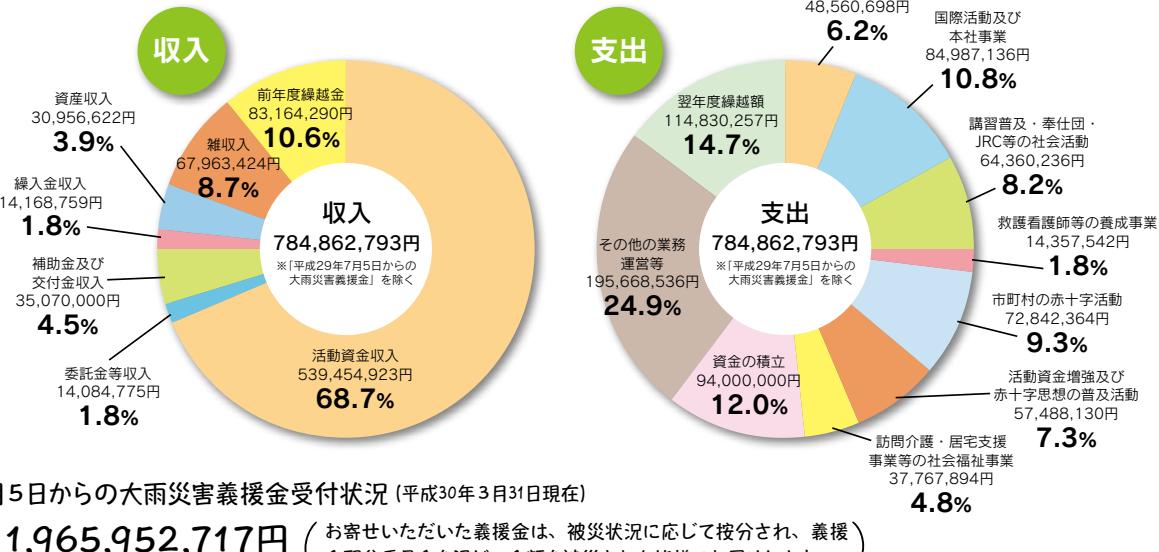
また、福岡県支部の赤十字救急法指導員による救急法講習会も開催しました。心肺蘇生を学び、体験を行うことで、改めて「いのちを守ることの大切さ」に気づきました。

来年4月からは御幸小学校との統合が決まり、妹川小学校は、今年度で閉校を迎えることになりました。最後の一年も「気づき、考え、実行する」を合言葉に全校児童一丸となって頑張ります。



平成29年度収支報告

支部・管下施設の平成29年度収支決算については、6月5日に開催された平成30年度第1回評議員会において審議の後、承認されました。県民の皆さまからの温かいご支援により、平成29年度も赤十字活動を展開することができました。心より感謝申し上げます。



暑い夏、水の事故に注意!

暑い日が続き、水遊びが楽しい夏休み。毎年、全国各地で水の事故が発生しています。福岡県では、子どもの水難事故発生件数が全国上位となっており、事故の予防が大きな課題となっています。また、服を着たままの水難事故は、水着を着て泳いでいる事故と比べて何倍も多く起きています。

「服を着たまま水に落ちた場合」と「溺れている人を見つけた場合」の対処法を知り、子どもの水難事故を防ぎましょう。

〈服を着たまま水に落ちたら〉

浮いて、待つ！

一体が浮くまで、ゆっくりとあわてずに！

服を着た状態で水に落ちると、体が重くなり、うまく泳ぐことができません。泳ごうとすることでエネルギーを消費してしまいます。浮いて体力を温存し、助けを待ちましょう。(図1)

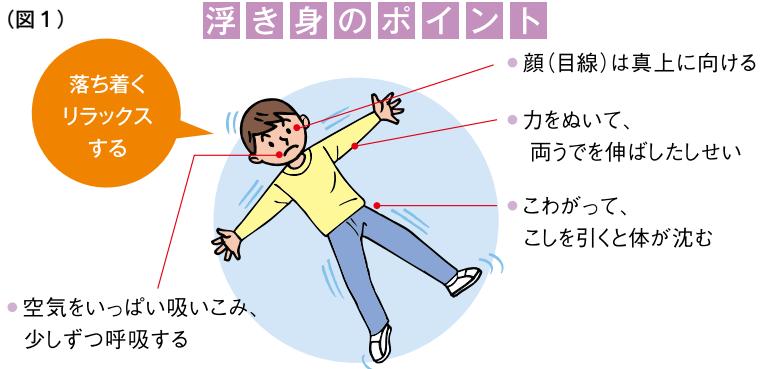
〈溺れている人を見つけたら〉

原則として、水の中に入つて助けない

一大きな声で大人の人を呼び、119番通報を一

事故が起きたとき、子どもだけで救出することは二次事故につながる危険があります。子どもにはすぐに119番通報するか大人を呼ぶように教えます。救助は、1人よりも複数で、水中に入らず陸上から、道具を用いたほうが安全です。(図2)

(図1)



(図2)

救助の方法

- 浮き具の代わりになる物を渡す
 - ・ペットボトル・バッグ(ランドセル)・サッカーボールなど
- 長い棒を差し出す
 - ・自分のシャツやズボンを差し出す
- 浮き身を指示し、励ます
- 溺れた人に声をかけ(もうすぐ助けが来るなど)、落ち着かせる



赤十字講習会

いのちと健康を守る知識と技術を、多くの皆さまへ



救急法

●基礎講習

教材費：1,500円
受講資格：満15歳以上
定員：各30人



開催日	時間	会場	受付期間
8/8(水)	10:00~16:00	久留米赤十字会館	6/18(月)~7/20(金)
10/12(金)	10:00~16:00	岩立公民館(飯塚市)	8/27(月)~9/28(金)
10/31(水)	10:00~16:00	久留米赤十字会館	9/10(月)~10/12(金)
1/16(水)	10:00~16:00	コムシティ(北九州市)	11/19(月)~12/21(金)

●救急員養成講習(2日間)

教材費：1,700円
受講資格：基礎講習修了者
定員：各30人

開催日	時間	会場	受付期間
8/9(木)、 8/10(金)	9:00~17:00	久留米赤十字会館	6/18(月)~7/20(金)
10/13(土)、 14(日)	9:00~17:00	岩立公民館(飯塚市)	8/27(月)~9/28(金)
11/1(木)、 11/2(金)	9:00~17:00	久留米赤十字会館	9/10(月)~10/12(金)
1/17(木)、 1/18(金)	9:00~17:00	コムシティ(北九州市)	11/19(月)~12/21(金)

水上安全法

●救助員I養成講習(3日間)

教材費：700円
受講資格：
救急法基礎講習修了者、
1つの泳ぎで300メートル
以上泳げる者
定員：各40人



開催日	時間	会場	受付期間
★9/6(木)	10:00~16:00	文化記念プール (小倉南区)	7/17(火)~8/17(金)
9/7(金)~ 9(日)	9:00~17:00		
★2/5(火)	10:00~16:00	久留米赤十字会館	12/17(月)~1/18(金)
2/6(水)~ 8(金)	9:00~17:00		

★は基礎講習です。未受講の方は併せてご受講ください。



幼児安全法

●支援員養成講習(2日間)

教材費：1,800円
受講資格：満15歳以上
定員：各20人



開催日	時間	会場	受付期間
9/9(日)、 10(月)	9:00~17:00	久留米赤十字会館	7/9(月)~8/24(金)
10/19(金)、 22(月)	9:00~17:00	嘉麻赤十字病院	8/6(月)~9/28(金)

●短期講習

受講資格：満15歳以上
定員：各20人

開催日	時間	教材費	会場	受付期間
9/25(火)	10:00~12:00	150円	ウイズゆくはし (行橋市)	7/30(月)~9/7(金)
	13:00~15:00	400円		
10/10(水)	10:00~12:00	150円	労働福祉会館 (大牟田市)	8/6(月)~9/14(金)
	13:00~15:00	400円		
11/15(木) ※託児付き (人数制限あり)	10:00~12:00	150円	久留米 赤十字会館	9/18(火)~10/26(金)
	13:00~15:00	400円		

10:00~12:00は、子どもに起こりやすい事故の予防と手当、けがの手当
13:00~15:00は、乳幼児の心肺蘇生、AEDの取り扱い

健康生活支援講習

●支援員養成講習(3日間)

教材費：900円
受講資格：満15歳以上
定員：各20人



開催日	時間	会場	受付期間
9/27(木) 10/1(月)、4(木)	10:00~15:00	今津赤十字病院	7/30(月)~9/7(金)
11/9(金)、12(月)、 14(水)	10:00~15:00	久留米赤十字会館	9/10(月)~10/19(金)
1/17(木)、18(金) 21(月)	10:00~15:00	福岡県支部	11/12(月)~12/21(金)

【お申し込み方法】

①ホームページから ②はがきで ③FAXで



【お問い合わせ・お申し込み】

〒815-8503 福岡市南区大楠3丁目1番1号

TEL: 092-523-1172 FAX: 092-521-2552

日本赤十字社福岡県支部 事業課 講習担当